

令和元(平成31)年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

資料

		令和元年度 KPI(重要業績指標)			
		指標名	実施前値	目標値	実績値
①地方創生推進交付金「小さな拠点を核とした市民協働による地域活性化まちづくりプロジェクト」(R1~R3) 【事業概要】小さな拠点としての機能強化のための「地域づくり組織」等の設置の推進や地域コミュニティ基盤の整備に係る事業、小さな拠点となる中核集落の形成に向けた取組を行う。		住民主体の地域づくり組織数	3組織/累計	5組織/累計	3組織/累計
		市街化調整区域における地区計画の指定区域数	2地区/累計	3地区/累計	2地区/累計
		自主防災組織の組織率	82%/年	85%/年	83.2%/年
		農山村地域における空き家バンク成約による移住者数	108人/年	118人/年	139人/年

No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等	
								主な意見	地方創生の効果
1	地域づくり組織支援事業	現在、活動されている地域づくり組織(三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会)や新たに地域づくり組織の設立を検討している地域等に対し、活動や設立の支援を行うとともに、市民協働や自立した地域づくりについて学ぶ機会を提供する。	地域づくり組織の主体的な活動を側面的に支援することができた。新たに1地区で地域づくり組織が設立されることとなった。(令和2年4月)	まちづくり推進課	310,362	155,181	B	—	あり 5 なし 0
2	地域コミュニティ交通導入モデル事業	三和地域における利用率が低い市バスの削減や路線の短縮等運行内容見直しに合わせ、三和地域協議会が実施する公共交通空白地有償運送事業「みわひまわりライド」を地域コミュニティ交通導入のモデル事業として位置づけ、運送に要する経費を支援する。	三和地域の市バスの段階的再編により、市バスから個別移送への転換が進んだことで「みわひまわりライド」の利用は年々増加しており、令和元年度は延969人の利用があった。	都市交通課	2,000,000	1,000,000	C	【ありの意見】 ①利用が伸びなかった原因を明確にすべきでは	あり 5 なし 0
3	地区計画策定事業	住民が主体となった話し合いの中で共有された地区の将来像の実現に向けて、地区計画を策定する。	令和元年度の地区計画策定をめざした地区において、積極的に説明会、勉強会を開催したが、住民合意が難しく都市計画決定に至らなかった。	都市交通課	13,683	6,841	C	【ありの意見】 ①難しい課題の中で、住民主体の地域づくりを促進しているとの明言は、今後に向けての姿勢が示されていると考えるが、地区計画策定に至らなかった、「理由」を整理されることを期待します。	あり 5 なし 0

		令和元年度 KPI(重要業績指標) ※圏域全体の指標(括弧内は本市単独の数値)			
		指標名	実施前値	目標値	実績値
②地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」(H28~R2) 【事業概要】京都府北部一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する産業・商業規模、観光拠点や交通機能等の都市機能を備える都市圏の実現に向けた取組を行う。		交流人口地域消費額(観光消費額)	2,421,891万円/年 (2,008,500千円/年)	2,832,400万円/年	2,480,412万円/年 (2,507,782千円/年)
		空き家バンクを活用した移住世帯数	49世帯/年(4世帯/年)	84世帯/年	61世帯/年(12世帯/年)
		高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数	72人/年(22人/年)	90人/年	117人/年(25人/年)

No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等	
								主な意見	地方創生の効果
4	海の京都DMO事業	一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に対する自治体負担金	京都府北部全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開 R1主要事業・着地型旅行商品造成・インバウンド誘客・クルーズ船対策・観光プロモーション・観光データ収集・分析	産業観光課	8,136,000	4,068,000	B	—	あり 5 なし 0
5	ふるさと就職おうえん事業	北部7市町内事業所による合同企業説明会を京都市内で開催 日時:令和元年5月23日(木) 会場:京都市勤業館みやこめっせ(京都市左京区) 参加事業者数:146事業者(内、福知山市60事業者)	当日は求職者89名が参加し、その内13名の求職者が説明会参加事業所への就職につながった。	産業観光課	458,000	229,000	C	【ありの意見】 ①義務的でない、行きたくなる就職説明会を考える。 ②KPI目標以上の実績であり、評価は「B」で良いのでは ③オンライン形式はベストでないが、現在のコロナ禍中においてベター策ではあるが、リアル以上の「寄り添う就職策」を実施すべきと思います。	あり 5 なし 0
6	移住・定住促進事業	・京都府北部の各市町で個々に活動している団体(者)の都市部と北部地域における関わりをつくる企画支援およびイベントの運営・実施 ・市町担当職員向けに、当該業務のあり方や今後の方向性について検討するワークショップの運営・実施	・移住関係部門の担当者が情報共有しあえる関係性が構築された。 ・官民で連携し、移住に関連の深い、関係・事業を創るコンテンツづくりが実践できた。(市町担当職員向けワークショップ開催2回) ・この事業からできたコンテンツを、移住イベントとして実施し、その流れもできた。(京都北部プロジェクト博覧会@京都市)	まちづくり推進課	1,146,000	573,000	B	【ありの意見】 ①新型コロナウイルスによる働き方、生活様式の変化は、移住推進のチャンス。移住者から要望や困った点などをヒアリングするなど、今後の対応に活かすことも必要ではないか。	あり 5 なし 0
7	広域連携推進事業	「京都府北部地域連携都市圏」(構成:福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町) ・総会、幹事会、各部会等を開催し、連携ビジョン等の作成、アクションプランの策定等を行う。 ・連携ビジョンに従い、地方創生推進交付金を活用しながら各種事業を推進する。	圏域内住民に学びの場を広く提供することを目的として、生涯学習講座を各市町において福知山公立大学と連携して計4回、「健康長寿の地域づくりの未来」「超高齢社会の地域交通の未来」「多文化共生と防災の未来」「地域コミュニティと自治の未来」をテーマに開催した。また、行政サービスのシームレス化を図るために、北部7市町間での図書館の相互利用の促進を図った。	経営戦略課	562,000	281,000	B	—	あり 5 なし 0
8	福知山公立大学「知の拠点」推進事業	京都府北部地域連携都市圏等の地域連携事業を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。	北近畿地域を舞台とする北近畿創生フューチャーセッションなど様々な地域連携事業を通じて北近畿地域の行政機関、教育機関、企業、各種団体等とのネットワークを形成した。	大学政策課	7,000,000	3,500,000	A	【ありの意見】 ①一部のみにしか成果が見えていない。成果のPRが必要。	あり 5 なし 0

令和元(平成31)年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

資料

③地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏創生人材・産業育成事業」(H29～R3) 【事業概要】『知』の拠点を圏域内の地方創生の核とし、地域人材確保や地域産業活性化の仕組みを構築することで、持続可能で活力あふれる独自の圏域を創生する。		令和元年度 KPI(重要業績指標) ※圏域全体の指標(括弧内は本市単独の数値)							
		指標名		実施前値		目標値		実績値	
		圏域内観光主要施設売り上げ額		2,184,861千円/年 (1,021,350千円/年)		2,294,861千円/年 (1,100,000千円/年)		3,247,209千円/年 (1,452,669千円/年)	
		移住支援制度を利用し転入した人の数		99人/年(11人/年)		154人/年(25人/年)		228人/年(42人/年)	
人口社会増		△587人/年(△131人/年)		△437人/年(△100人/年)		△810人/年(△383人/年)			
起業支援制度を利用して起業した人の数		32人/年(11人/年)		56人/年(25人/年)		40人/年(9人/年)			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等	
								主な意見	地方創生の効果
9	福知山公立大学「知の拠点」推進事業	兵庫県朝来市・丹波市との地域連携事業費を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。また、新学部設置に係る外部有識者を含む委員会の運営及び、情報学部フォーラムの開催を支援した。	令和2年4月の情報学部の設置認可を受け、文理2学部入学生定員200名体制を実現した。また、北近畿地域を舞台とする北近畿創生フューチャーセッションなど様々な地域連携事業を通じて北近畿地域の行政機関、教育機関、各種団体等とのネットワークを形成した。	大学政策課	16,200,000	8,100,000	A	【ありの意見】 ①一部の人のしか成果が見えていない。成果のPRが必要。	あり 5 なし 0
10	福知山市伝統文化後継者育成事業	本市に伝承される伝統的な工芸・技術を文化としてまた地域産業として継承させるため、後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対し支援を行う。 (1)後継者の育成支援 後継者1人につき3年を限度に補助金を交付する。月額上限50千円、年額600千円。 (2)後継者となる人材の発掘を目的とする伝統的工芸品等の製造に係る調査及び研究の体験研修等を行う事業に補助金を交付する。事業費の1/2、上限10万円。	本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図るとともに定住の促進に寄与している。本市の文化資源を有効に活用し、文化振興と本市伝統文化の後継者発掘促進を進めるため、体験活動や調査研究活動に対して補助金を交付した。	文化・スポーツ振興課	334,000	167,000	C	【ありの意見】 ①HPの修正が必要。 ②向上策については幾つかの考えは既にあるのですが、「心の豊かさ」や「地域の魅力」を訴求する中で、それに携わる利点を示すべきではないかと思えます。 【なしの意見】 ①KPI設定項目が目的・事業内容とアンマッチ。育成支援実施先数を入れるべきではないか。また、事業承継のマッチングも事業内容とすべきではないか。	あり 4 なし 1
11	観光地域づくりセンター運営事業	過疎高齢化により地域の活力が失われつつある地域において、「観光」を切り口として地域住民が主体となって持続可能な地域づくりを目指し、観光地域づくり事業を外部委託して地域の関係者や経営感覚のある民間事業者等と繋いで伴走型支援による事業展開を図る。	・大原地区：大原活性化協議会と民間事業者で「産屋の里ウエディング事業の確立」自走化。 ・上六人部地区：上六活性化協議会での地域活性化イベントの計画(R1、3まち歩きイベントは新型コロナウィルス感染拡大により中止) ・三岳地区：里のえきみたくを核として地域産品のフラッシュアップと販路開拓(ふるさと納税返礼品)	産業観光課	8,690,000	4,345,000	C	【ありの意見】 ①それぞれの地域が持つ資源と、世代や住まいする地域によって異なるが広く現代人が求めている知識と体験を行えるコトが、マッチングすることのプラットフォームが、本センター運営事業です。まずはここでは「何」が出来るのかを再度協議することから始めるべきと考えます。 【なしの意見】 ①No17、28とセットとし、拠点と整備すべき線とを結びような取り組みが必要ではないか。	あり 4 なし 1
12	次世代交流ワークショップ事業	無作為抽出により募集、選出した高校生・大学生を中心とした市民が、グループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について意見を交わす「次世代交流ワークショップ」を大学と連携して開催する。	74人の若者を中心とした多様な参加者により、「明智光秀」や「SDGs」を切り口に福知山のまちづくりに対して対話を深めることができた。公立大学や龍谷大学の学生がファシリテーターとして活躍し、若者を中心として福知山の未来について語り合う場を創出できた。	まちづくり推進課	305,711	152,855	B	【ありの意見】 ①日本政策金融公庫の高校生ビジネスグランプリの活用も検討願いたい。	あり 5 なし 0
13	福知山市産業支援事業(産業支援センター、パワーオンネット)	相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する。福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」の運営業務については、一般社団法人福知山産業支援機構へ業務委託をする。	相談件数については、令和元年度は979件(月平均81件)の相談を受けており、当初の目標を大きく上回る件数となっており、そのうち約9割はリピーターとして複数回相談に来られている。	産業観光課	25,559,717	12,779,858	B	【ありの意見】 ①日本政策金融公庫の活用により、若者の支店と地元企業とのマッチングによる新たなビジネスの創設も考えられ、心強い存在であるドッコイセbizの助言などを取入れ、ALL福知山としての取り組みを作っていく必要があるのではないか。	あり 5 なし 0
14	肉のまち福知山事業	食による福知山のブランディングを進め、地域活性化を目的として、牛や豚、鳥、ジビエなど様々な肉を提供する飲食店を集めた「ふくちやまMEET×MEATフェスティバル」を開催	イベントを開催し10,000人(主催者発表)の来場者となった。	産業観光課	1,800,000	900,000	B	【ありの意見】 ①より多くの人に肉のまちを訴求させるのであれば、首都圏での周知拡大に向け、高速バスへのラッピングや首都圏電車内吊り広告の活用なども考えられるのではないか。	あり 5 なし 0
15	福知山産業フェア事業	福知山産業フェアは、企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われており、この大規模物産展の開催に対して補助金を支出するもの。	出展企業125者のうち、取引拡大につながった出展者が83者あり、出展者アンケートでも、半数以上の出展者が、企業活動において一定の効果があったとの回答を得ている。また、自社商品やサービスの感想が直接聞けたことや、企業PRに繋がったなどの意見も多数あり、好評であった。	産業観光課	3,800,000	1,900,000	B	—	あり 5 なし 0
16	福知山PR戦略総合推進事業	・「知られざる明智光秀プロジェクト」…明智光秀主人公の2020大河ドラマに関連した中期的に展開するPR活動 ・「いがいと！福知山」…福知山のブランドメッセージを活用し市民の情報発信につなげるPR活動 ・「福知山市ファクトブック」プロモーション用画像素材集」作成などによる全国メディアにアプローチ ・福知山市ドッコイセ大使杉本敬三さんによる福知山の食の魅力発信	本市を代表する明智光秀ゆかりの資源である福知山城を活用し、明智光秀の未知の魅力を積極的に発信した。結果当PR事業に関する新聞・TV・Web記事は約300件、広告換算額では約1.1億円(一日城主、茶会に関する143件のみ算出)、より範囲を広げ「福知山 明智光秀」の単語が両方掲載された記事件数は約1,000件、広告換算額では約2.5億円(紙媒体565件のみ算出)となった。	秘書広報課	19,200,000	9,600,000	A	【ありの意見】 ①例えば「明智光秀」をメインテーマにした「PR事業」を行なう中で、福知山城＝明智光秀のみが市民が理解出来る範囲であり、まちなみ(条里制?)整備も実施したということが果たして知識として伝播しているのか疑問です。それを払拭するため、府県を越えて3市が連携することによって、各地に残存する明智由縁の歴史的産物が一堂に披露することが出来ると思えます。今年だけが「明智光秀」ではなく、且つ「コロナ禍」による停滞化原因に終始するのではなく、これからも永久に知らしめるべき人物として、もっと研究しそれを3市から波及して下さい。	あり 5 なし 0

令和元(平成31)年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧										資料	
令和元年度 KPI(重要業績指標) ※圏域全体の指標(括弧内は本市単独の数値)											
④地方創生推進交付金「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」(H28～R2)											
【事業概要】地域資源を活用した広域観光に係るDMO事業及び連携事業を進める。											
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		地方創生の効果	
								目標値	実績値		
観光消費額					8138.0億円/年 (2,008,500千円/年)	11227.6億円/年	13025.0億円/年 (2,507,782千円/年)				
17	「森の京都」DMO事業	一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する自治体負担金	京都府中部全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開 R1主要事業 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・食の観光の推進・観光プロモーション ・観光データ収集・分析	産業観光課	6,300,000	3,150,000	B	【ありの意見】 ①No11, 28とセットとし、拠点と整備すべき線とを結ぶような取り組みが必要ではないか。	あり 5 なし 0		
令和元年度 KPI(重要業績指標) ※圏域全体の指標(括弧内は本市単独の数値)											
⑤地方創生推進交付金「大河ドラマ『麒麟がくる』を契機にした『城下町』レガシープロジェクト」(R1～R3)											
【事業概要】大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会を中心に広域プロモーション事業を行い、各エリア間の周遊観光を促進するとともに、地域資源を活用し各地域の「稼ぐ力」につなげる他、交流人口拡大とこれを契機にした地域経済の活性化を図る。											
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		地方創生の効果	
								目標値	実績値		
関連観光スポットの観光入込客数					418万人/年 (156,214人/年)	441万人/年	434万人/年 (256,295人/年)				
関連観光スポットの観光消費額					202億円/年 (123,641千円/年)	210億円/年	200億円/年 (185,727千円/年)				
クルーズ船の寄港数					23	28	34				
18	明智光秀プロジェクト推進事業	平成30年9月に設立された官民連携組織である「福知山光秀プロジェクト推進協議会」が実施する下記事業への負担金 ・福知山光秀ミュージアム整備運営、広報・PR、団体連携、土産物販売所設置運営 等	おもてなし講座や著名な講師陣による明智光秀連続講座の開催、協議会HPなどを通じて明智光秀と本市のゆかりなど歴史・文化を発信するとともに市民のおもてなし機運の醸成を進めた。「麒麟がくる」の放送開始後はミュージアムを開館し、目標入館者数10万人に向けて想定を上回るペースで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け5月末まで臨時休館となった。	秘書広報課	71,924,000	35,962,000	A	【ありの意見】 ①「麒麟がくる」以降に以下に繋げるか、No16意見の記載内容など全国的な認知を途切れさせない取組みが必要ではないか。 ②上記「事業16」に深く関連する事業として、お城は勿論、「福知山光秀ミュージアム」の恒久的活用を行なうための試金石として、時間的制約(大河ドラマ終演)は思いから外して、長期運営計画を立てるべきと思います。	あり 5 なし 0		
19	大河ドラマ「麒麟がくる」推進事業	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会への負担金 【大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会】構成市町: 福知山市(事務局)、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、長岡京市、京丹後市、大山崎町、丹波市、丹波篠山市、若狭町、京都府 事業概要: NHK京都放送局との連携事業、首都圏ほかPR活動、広告出稿、パンフレットの作成、旅行者・メディア向けアプローチ、協議会ホームページによる情報発信など	各種イベント出展・広告出稿による圏域情報の発信、旅行者への旅行造成に向けた働きかけ、NHK京都放送局との連携により、本市の観光振興と地域活性化に向けた活動を実施できた。 福知山城や福知山光秀ミュージアム、明智智、御霊神社といった本市の大河ゆかりのスポットの市外における認知度向上に寄与した。	秘書広報課	750,000	375,000	A	【ありの意見】 ①「麒麟がくる」以降に以下に繋げるか、No16意見の記載内容など全国的な認知を途切れさせない取組みが必要ではないか。 ②上記「事業16」に深く関連する事業として、お城は勿論、「福知山光秀ミュージアム」の恒久的活用を行なうための試金石として、時間的制約(大河ドラマ終演)は思いから外して、長期運営計画を立てるべきと思います。	あり 5 なし 0		
20	福知山城観光誘客強化事業(ソフト分)	・福知山城パンフレット多言語版作成や展示ケースの内装修繕、展示パネルのリニューアルを行う。 ・福知山光秀ミュージアムで展示を行う重要資料の運搬を専門業者に委託する。	福知山城パンフレット多言語版(4言語、計40,000部)の作成、館内の展示パネル(43枚)のリニューアル、展示ケース・展示台のクロス貼替修繕などを実施するとともに、スポットクーラー4台をレンタル、館内に設置するなど来場者が快適に見学できる環境整備を進めた。	文化・スポーツ振興課	8,312,089	4,156,044	C	【ありの意見】 ①上記「事業16」に深く関連する事業として、お城は勿論、「福知山光秀ミュージアム」の恒久的活用を行なうための試金石として、時間的制約(大河ドラマ終演)は思いから外して、長期運営計画を立てるべきと思います。	あり 5 なし 0		
21	福知山城観光誘客強化事業(ハード分)	福知山城のライトアップについては、天守閣本体をハロゲン灯10基で照らしており、今回灯体のLED化と合わせてライトアップのリニューアルを実施する。	福知山城のライトアップ設備について、照明のLED化と合わせて照明デザイナーによるリニューアルを行い、福知山城の魅力の向上を行った。リニューアル後は、天守閣本体をLED灯11基、東側の石垣をLED灯12基、釣鐘門をLED灯1基でライトアップを行っている。	文化・スポーツ振興課	4,471,038	2,235,519	C	【ありの意見】 ①上記「事業16」に深く関連する事業として、お城は勿論、「福知山光秀ミュージアム」の恒久的活用を行なうための試金石として、時間的制約(大河ドラマ終演)は思いから外して、長期運営計画を立てるべきと思います。	あり 5 なし 0		
22	やくの木と漆の館事業	漆に関する資料展示、漆芸作家の作品を展示する企画展の開催、漆器の制作及び販売、漆塗り体験者への指導、金継ぎ教室及び蒔絵教室の開催など	丹波漆の伝承と、漆塗りや漆の絵付けなど様々な漆芸が学べる体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。	夜久野支所	2,709,586	1,354,793	C	【ありの意見】 ①PR不足。 ②「夜久野」地域は、古来日本でも有数の「漆」の産地であり、その歴史的伝統と温故知新の如く、次代に通じる典型的なモノ「文化」です。又、その価値を上手く活用しながら地域での生産性を徐々に上げながら循環経済の一環として位置付けるべきです。そための市民への広報/告知活動が求められます。	あり 5 なし 0		
23	和紙伝承館管理事業	・丹後手すき和紙の歴史や生産技術等の展示公開を行う。 ・手すき和紙製作体験を行う。 ・地域資源として観光入込客の受け入れを行う。	伝統的な手すき和紙を広く伝えるため、和紙関連作品の企画展示会を年4回開催する。また、手漉き和紙製作体験を年間通して開催する。 施設開館日(土日・祝日等)126日間 入館者数741名 うち 手すき和紙製作体験者数305名	大江支所	1,882,493	941,246	C	—	あり 5 なし 0		

令和元(平成31)年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

資料

No.		事業名	事業内容	事業成果	担当課	令和元年度 KPI(重要業績指標) ※京都府下の該当市町全体の数値目標として設定されている				
						歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等	
						指標名	実施前値	目標値	実績値	
		⑥地方創生推進交付金「北部地域連携都市圏ものづくり産業都市創造プロジェクト」(R1~R3) 【事業概要】整備の進んだ物流ネットワークを活用し、産学公連携によるものづくり産業の基盤技術の定着支援、京都舞鶴港の利用促進、人材育成・確保・雇用創出、企業誘致、販路開拓等の事業を実施する。				北部地域の製造業事業所数(京都府)	419件/年	431件/年	410件/年	
						北部地域の製造業従業者数(京都府)	15,732人/年	16,203人/年	16,140人/年	
						舞鶴港のコンテナ取扱量	13,402TEU/年	14,402TEU/年	13,145TEU/年	
						若手人材の地元企業定着率(京都府)	56%/年	58%/年	64%/年	
								有識者会議委員による評価等		
								主な意見		
								地方創生の効果		
24	起業おうえん事業	・創業セミナー 専門家等による創業セミナーを実施 ・起業家支援事業補助金 市内で新たに起業する者、起業して1年未満の者に対し、起業に係る経費の一部を補助(補助率:ソフト事業1/2 上限200千円、ハード事業1/4 上限500千円) ・起業おうえん助成金 創業関連融資利用者に対し、6か月分の利子相当額を全額補給(上限9万円)する	・起業家支援事業補助金・・・3,062,000円/8件 ・起業おうえん助成金(利子補給)・・・213,903円/4件 ・創業セミナー参加者・・・34人 ・創業スクール参加者・・・45人	産業観光課		444,604	222,302	B	【ありの意見】 ①KPI設定項目が目的・事業内容とアンマッチ。高校生ビジネスグランプリの活用により、若者の支店と地元の企業とのマッチングによる新たなビジネスの創設も考えられ、心強い存在であるドッコイセイbizの助言などを取り入れ、ALL福知山としての取組みを作っていく必要があるのではないかと。	あり 5 なし 0
25	販路開拓支援事業	関西圏内への出展は上限10万円、関西圏外へは15万円、海外へは20万円を補助する。物品販売を伴う展示会に出展する場合、1/4を補助する。申請上限は通算5回とする。	関西圏外のイベント出店が2件、関西圏内のイベント出店が1件となった。参加したイベントについては東京ビッグサイトが2件など、来場者規模が10,000人を超えるイベントに利用されている。	産業観光課		317,000	158,500	C	【なしの意見】 ①政策金融公庫もアグリフードEXPOを開催しており、市内での周知・活用・出店者への費用補助を検討していただきたい。	あり 4 なし 1
26	企業交流促進事業	福知山企業交流会の活動に補助金を交付し、研修会や受発注懇談会等を通して企業間交流を図る。	企業間交流を目的として懇談会や研修会等を計画に基づき実施し、市内企業の長田野工業団地企業から市内企業への受発注率は20%以上を維持している。	産業観光課		540,000	270,000	C	—	あり 5 なし 0
27	稼げる農業応援事業	ふくちやまのエエもん発掘事業 「これぞ福知山」といえる郷土色豊かな農産物や加工品を「ふくちやまのエエもん」として認定し、商品のブラッシュアップ支援や、商談会等への出展支援を実施する。	R01年度のエエもん応募件数は67件で、その中から7品目の「エエもん」を認定し、H30年度の認定品4品目と併せて11品目となった。東京JR新宿駅での特産品フェアや森の都DMOイベントなどに出展し、認定品のPRを実施した。	農林業振興課		3,948,948	1,974,474	B	【ありの意見】 ①ロッド量、流通は課題であり、増産設備に向けた支援や高速バスを利用した大阪・神戸への商品運搬確立などに向けた市の関与が必要ではないかと。 ②本事業にとって『ふくちやまエエもん発掘事業』の趣旨を理解出来ない企業が未だ存在すること自体が考えられないことです。本事業の趣旨・事業展開の方策など、関係者による研修・研鑽の必要性を是非とも認識してほしいと思います。	あり 5 なし 0
		⑦地方創生道整備推進交付金「北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画 ～広域連携の強化小さな拠点を結ぶ地域連携の強化～」(H28~R2) 【事業概要】市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る。		令和元年度 KPI(重要業績指標)						
						指標名	実施前値	目標値	実績値	
						観光入込客数	792,139人/年	903,785人/年	1,116,577人/年	
						森林整備施設面積	373ha/年	560.25ha	243.3ha/年	
								有識者会議委員による評価等		
								主な意見		
								地方創生の効果		
28	地域間交流促進ネットワーク事業(市道及び林道整備)	・広域的な道路網の整備とこれに接続する幹線道路の改良を行い危機対応の強化を図る。(市道 10路線、9.755m) ・通常の林道機能に加え、大江山線を観光林道として、額田大油子線を国道9号線の迂回路として整備する。(林道 2路線、920m)	・地域間を結ぶ幹線的な道路など優先度の高い路線を整備し、地域間の連携強化を行いネットワークの強化、災害時における避難経路の確保を行い安心・安全な道路環境を整えることができた。 ・地域間を結ぶ幹線的な市道整備と合わせ、林道法面改良を行うことで、迂回路や観光林道として安心・安全な道路環境を整えることができ、観光入込客数増加に寄与した。	道路河川課 農林業振興課		53,816,700	24,895,200	C	【ありの意見】 ①本事業がめざす「道路整備」は、その対象面積が大きいため一朝一夕で完工する訳ではなく、相当のコストと時間を要する、確実に安全、そして安心の出来る事業であり、結果、観光入込客の増加が見込めるものです。合理的で安全な計画変更は行いつつ決して慌てておかない事業と考えて下さい。 【なしの意見】 ①No11, 17とセットとし、拠点と整備すべき線とを結ぶような取り組みが必要ではないかと。	あり 4 なし 1

令和元(平成31)年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧 資料

⑥企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)「働いてみたい福知山長田野工業団地PR事業 ～企業誘致、環境対策に向けて～」(R1) 【事業概要】本市の地域経済を牽引する工業団地の防災対策や環境整備を進めるとともに、魅力ある工業団地であることをPRすることにより企業誘致の促進、市内の学生等の就職の促進と定着を図り、人口減少に歯止めをかけ地域経済をさらに発展させる。			令和元年度 KPI(重要業績指標)						
			指標名		実施前値		目標値	実績値	
			新規誘致企業数		0社		1社	1社	
			地元雇用者数		0人		10人	4人	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等	
								主な意見	地方創生の効果
29	長田野工業団地内緩衝緑地帯再整備等事業	「長田野工業団地地利活用増進計画」に基づき実施する業務であり、長田野工業団地内から騒音や災害を遮断する目的で緑地等が設置されたが、近年樹木が大きくなり、企業敷地内に越境している。樹木が入り込むことは動物等が入り込むことになり、衛生上問題がある。樹木伐採を計画的に進め、企業の操業環境を確保する。	長田野工業団地地利活用増進計画により、長田野工業団地内企業と協議を行うことにより、良好な計画で進捗している。企業の操業環境の整備が順次実施できている。	秘書広報課	9,956,400	-	C	【ありの意見】 ①環境整備の視点から求められる。	あり 5 なし 0
30	化学消防車両購入事業	長田野工業団地立地企業の危険物を貯蔵又は取り扱う施設での危険物火災等に対応できる化学消防車の導入を行うことによる防災安全対策を講じ就業環境の改善を図る。化学消防車両の導入1台	危険物火災等に対応できる化学消防車を導入した。引き続き、災害活動における機動力の確保と性能向上を図り、円滑な消防活動を行う。	秘書広報課	71,500,000	-	C	【ありの意見】 ①長く待たれた都市型災害に対処出来る「化学消防車」の導入は、災害除去の有効なシンボルとします。 【なしの意見】 ①安心安全のためには必要あるが、1自治体で購入するにはかなり高額。綾部市など近隣自治体との広域連携は模索できないのか。	あり 4 なし 1

⑦地方創生拠点整備推進交付金「北近畿『知』の拠点を活用した地域力推進計画」(H28～R2) 【事業概要】福知山公立大学が北近畿地域の住民、企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、大学の施設改修及びICT環境の充実強化に向けた取組を支援する。			令和元年度 KPI(重要業績指標)					
			指標名		実施前値		目標値	実績値
			①プラットフォーム施設利用者数		①一人/年		①30人/年	①1,508人/年
			①プロジェクトの新商品等の開発件数		①一件/年		①1件/年	①1件/年
①府県を越えた自治体連携事業数		①一件/年		①1件/年	①2件/年			
②まちかどキャンパス利用者数		②一人/年		②50人/年	②2,604人/年			
②住民連携取組事例数		②一件/年		②1件/年	②53件/年			
②事業を利用した新たな起業家数		②一人/年		②1人/年	②1人/年			

No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等	
								主な意見	地方創生の効果
31	①北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業	福知山公立大学が北近畿地域の住民、各種団体等との連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、メディアセンター等の施設改修及びICT環境を整備。	メディアセンター、まちかどキャンパスともに目標としている利用件(者)数を上回る実績が出ている。両施設とも、学生のみならず、一般の利用者も増えてきており、「地域に根ざし、地域住民に見える大学」としての役割を担っている。	大学政策課	-	-	A	—	あり 5 なし 0
32	②まちかどキャンパス事業	旧市街地の空き店舗を改修して、市民聴講を含む大学講義や市民講座等を実施するための「まちかどキャンパス」を整備		大学政策課	-	-	A	—	あり 5 なし 0

※⑨のプロジェクトについては、平成29年度に整備事業(歳出決算額845,500,00円、交付金充当額42,250,000円)を実施しており、令和元年度の事業費は0円であるが、プロジェクトの期間は令和2年までであるためKPI等の事業検証を行った。

- A(非常に効果があった)
- B(相当程度効果があった)
- C(効果があった)
- D(効果がなかった)